

1. 科目名 (単位数)	社会福祉Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SNMP1105
2. 授業担当教員	荻野 基行		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実践を展開する際、支援の対象としての人間の生活を理解することが、基本的かつ重要なことであるということを念頭においた上で、人間の生活について具体的な出来事と概念を結びつけて授業を展開する。</li> <li>・人間と社会(家族・近隣・地域・社会)の関わりが、生活の質にどのような影響を与えているか、また学生が、自身の生活と利用者の生活とを別々の次元で理解するのではなく、同じ時代の社会の中で共に生活しているという視点で授業を展開する。</li> <li>・生活の理解において、経済的困窮に伴う生活問題への対応が、社会福祉を生み出す一つの歴史的原点となっているということをふまえて授業を展開する。</li> <li>・地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方としくみ、及びその実現のための制度や施策について理解する授業を展開する。</li> </ul>		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉え、その意義と理念を理解し、説明できるようになることを目標とする。</li> <li>・個人と家族、個人と地域、個人と社会の関係性を知り、「自助」「互助」「共助」の内容を明らかにすることができる。</li> <li>・「公助」は、社会システムを維持するための施策によって自立を実現するものであるということを理解していく中で、人として社会的存在であり続けることの意義を理解し、説明することができる。</li> <li>・地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方と、その実現にむけた制度や施策について、説明することができる。</li> </ul>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	レポート課題 1. 「生活とライフスタイル」について 2. 「家族・社会・組織・地域・地域社会」について 3. 「地域共生社会の実現にむけた制度や施策」について レポートは1ページ40行×30文字で3枚以上とする。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 介護福祉士養成講座編集委員会『最新 社会の理解』中央法規出版。 <b>【参考書】</b> 授業中随時紹介		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉え、その意義と理念を理解し、説明できるか。</li> <li>・個人と家族、個人と地域、個人と社会の関係性を知り、「自助」「互助」「共助」の内容を明らかにすることができるか。</li> <li>・「公助」は、社会システムを維持するための施策によって自立を実現するものであるということを理解していく中で、人として社会的存在であり続けることの意義を理解し、説明することができるか。</li> <li>・地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方と、それに関する制度や施策について、説明することができるか。</li> </ul> ○評定の方法 レポート60% 授業態度20% 期末試験20%		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に目的意識をもち、積極的に参加すること。</li> <li>・授業内容と関係のない私語や居眠り、携帯電話の使用などは禁止する。</li> <li>・新聞を読むことをすすめる。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	授業の中で提示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 生活を幅広く捉える①(人間を捉える総合的視点・生活の質・総合的視点に関する代表的な学説)	事前学習	テキストを通読しこの授業の目的や内容等を予習する。
		事後学習	講義を受け人間を捉える総合的視点・生活の質・総合的視点に関する代表的な学説を説明できるようにする。
第2回	生活を幅広く捉える②(社会生活のメカニズム)	事前学習	テキストを精読し社会生活のメカニズムを予習する。
		事後学習	講義を受け社会生活のメカニズムを説明できるようにする。
第3回	生活の基本機能①(生活の多様性を捉える視点・個人の暮らしと生活のあり方・家族と家庭の違い)	事前学習	テキストを精読し生活の多様性を捉える視点・個人の暮らしと生活のあり方・家族と家庭の違いを予習する。
		事後学習	講義を受け生活の多様性を捉える視点・個人の暮らしと生活のあり方・家族と家庭の違いを説明できるようにする。
第4回	生活の基本機能②(家庭機能の特徴)	事前学習	テキストを精読し家庭機能の特徴を予習する。
		事後学習	講義を受け家庭機能の特徴を説明できるよ

			うにする。
第5回	ライフスタイルの変化①（生活と働き方の変化・経済的困窮に伴う生活問題への対応）	事前学習	テキストを精読し生活と働き方の変化・経済的困窮に伴う生活問題への対応を予習する。
		事後学習	講義を受け生活と働き方の変化・経済的困窮に伴う生活問題への対応を説明できるようにする。
第6回	ライフスタイルの変化②（少子高齢化と健康寿命）	事前学習	テキストを精読し少子高齢化と健康寿命を予習する。
		事後学習	講義を受け少子高齢化と健康寿命を説明できるようにする。【レポート1】
第7回	家族の機能と役割・個人と家族の関係性	事前学習	テキストを精読し家族の機能と役割・個人と家族の関係性を予習する。
		事後学習	講義を受け家族の機能と役割・個人と家族の関係性を説明できるようにする。
第8回	社会・組織の機能と役割	事前学習	テキストを精読し社会・組織の機能と役割を予習する。
		事後学習	講義を受け社会・組織の機能と役割を説明できるようにする。
第9回	地域・地域社会、個人と地域、個人と社会の関係	事前学習	テキストを精読し地域・地域社会、個人と地域、個人と社会の関係を予習する。
		事後学習	講義を受け地域・地域社会、個人と地域、個人と社会の関係を説明できるようにする。
第10回	地域社会における生活支援	事前学習	テキストを精読し地域社会における生活支援を予習する。
		事後学習	講義を受け地域社会における生活支援を説明できるようにする。【レポート2】
第11回	地域福祉の発展①（地域福祉の理念と歴史的展開・自助、互助、共助）	事前学習	テキストを精読し地域福祉の理念と歴史的展開・自助、互助、共助を予習する。
		事後学習	講義を受け地域福祉の理念と歴史的展開・自助、互助、共助を説明できるようにする。
第12回	地域福祉の発展②（地域福祉の充実・災害と地域社会）	事前学習	テキストを精読し地域福祉の充実・災害と地域社会を予習する。
		事後学習	講義を受け地域福祉の充実・災害と地域社会を説明できるようにする。
第13回	地域共生社会①（地域共生社会をめざす社会的背景とその理念）	事前学習	テキストを精読し地域共生社会をめざす社会的背景とその理念を予習する。
		事後学習	講義を受け地域共生社会をめざす社会的背景とその理念について説明できるようにする。
第14回	地域共生社会②（地域共生社会の実現にむけたとりくみ）	事前学習	テキストを精読し地域共生社会の実現にむけたとりくみを予習する。
		事後学習	講義を受け地域共生社会の実現にむけたとりくみについて説明できるようにする。
第15回	地域包括ケアシステム まとめ	事前学習	テキストを精読し地域包括ケアシステムを予習する。
		事後学習	これまでの講義を受け地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方とそれに関する制度や施策について説明できるようにする。また講義全体を通し個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉え、その意義と理念を説明できるようにする。【レポート3】
期末試験※詳細については講義内で示す。			